

第18 交通事故事件捜査

1 交通特殊事件

交通事故を偽装した保険金詐欺事件、運転免許証の不正取得事件、文書の偽変造事件及び事業活動から派生する自動車の使用者の義務違反事件等交通社会に潜在する悪質知能犯罪の検挙を重点とした捜査を推進した。

その結果は、次表のとおりである。

(1) 交通特殊事件等の検挙状況

罪 種 別	令和3年
交通保険金詐欺事件	14件（合計約4,230万円）
自動車の使用者の義務違反事件	2件
犯人隠避事件	7件
文書偽（変）造事件	11件
その他	340件
計	374件

注 その他（道路交通法違反教唆等事件・運転免許証不正取得事件など）

(2) 主要事件の検挙事例

○ 筑後地区の詐欺グループによる自動車保険（共済）金詐欺事件

所 属	筑後地区等10所属及び交通捜査課並びに佐賀県警察
事件の概要	暴力団員及びその親交者らが関与する筑後地区の詐欺グループが偽装交通事故を出して、自動車保険（共済）金約4,230万円をだまし取った7件の保険金（共済）詐欺及び整骨院経営者による施術日数の水増しを手段とした保険金詐欺事件を検挙した。
罪 名 等	詐欺
被疑者数等	被疑者 52人

○ 中国人留学生による貨物自動車運送事業法違反（無許可経営）事件

所 属	東警察署及び交通捜査課並びに外事課
事件の概要	中国人留学生が、軽自動車貨物運送事業の届出しがしていないにもかかわらず、中型貨物自動車を使用して、無許可で一般貨物自動車運送事業を営んでいた貨物自動車運送事業法違反（無許可経営）事件を検挙した。
罪 名 等	貨物自動車運送事業法違反（無許可一般貨物自動車運送事業経営）
被疑者数等	被疑者 2人

第18 交通事故事件捜査

2 ひき逃げ・不申告事件

注1 「ひき逃げ事件」とは、道路交通法第72条第1項前段の救護措置義務違反に係る交通事故をいう。

2 「不申告事件」とは、道路交通法第72条第1項後段の報告義務違反に係る交通事故をいう。

(1) ひき逃げ・不申告事件発生・検挙状況等の年別推移

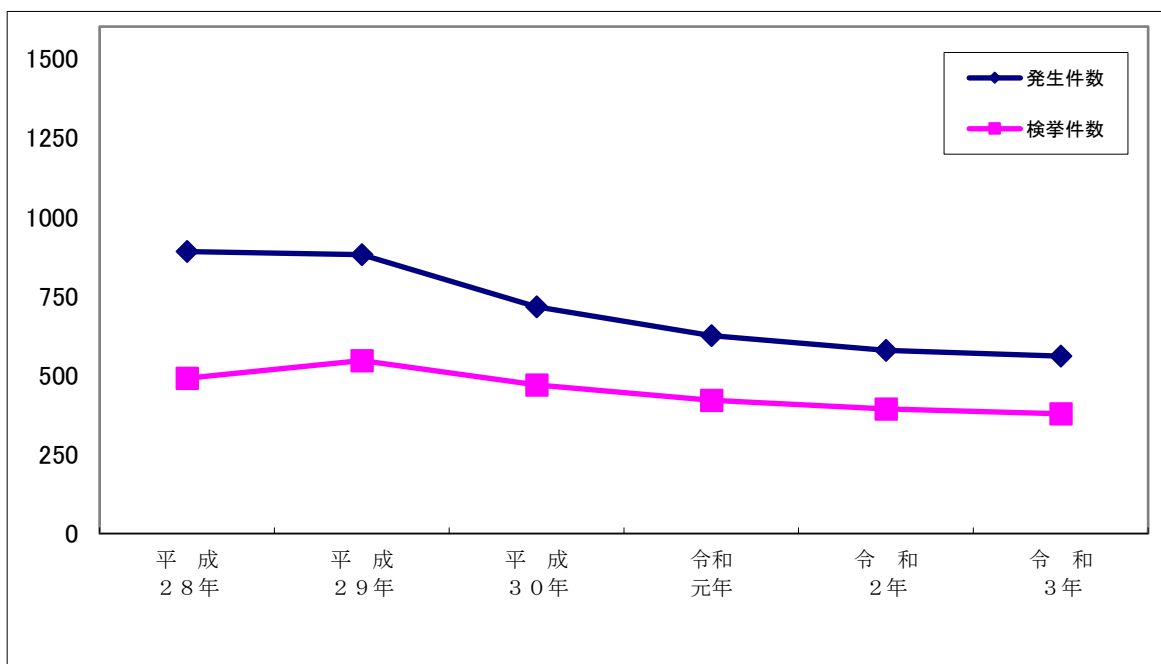
区 分	発生件数(件)			死亡ひき逃げ件数(件)			検挙件数(件)		
		対全事故 比率	指数		対全死亡 事故比率	指数		検挙率	指数
平成元年	1,216 (400)	3.4%	100	16	4.3%	100	1,062 (246)	87.3% (61.5%)	100
2年	1,032 (349)	3.1%	85	21	5.4%	131	882 (199)	85.5% (57.0%)	83
3年	1,025 (376)	3.0%	84	15	4.0%	94	879 (230)	85.8% (61.2%)	83
4年	900 (415)	2.5%	74	18	4.8%	113	729 (268)	81.0% (64.6%)	69
5年	734 (401)	2.0%	60	14	4.2%	88	533 (220)	72.6% (54.9%)	50
6年	727 (408)	1.9%	60	24	6.2%	150	521 (235)	71.7% (57.6%)	49
7年	675 (358)	1.7%	56	18	4.8%	113	488 (202)	72.3% (56.4%)	46
8年	803 (476)	1.9%	66	23	6.6%	144	474 (217)	59.0% (45.6%)	45
9年	877 (532)	1.9%	72	17	5.1%	106	494 (215)	56.3% (40.4%)	47
10年	1,073 (686)	2.2%	88	18	5.6%	113	500 (239)	46.6% (34.8%)	47
11年	895 (490)	1.8%	74	16	5.2%	100	481 (206)	53.7% (42.0%)	45
12年	976 (492)	1.9%	80	12	4.1%	75	532 (216)	54.5% (43.9%)	50
13年	942 (482)	1.9%	77	15	4.7%	94	508 (162)	53.9% (33.6%)	48
14年	951 (576)	1.9%	78	15	4.9%	94	544 (229)	57.2% (39.8%)	51
15年	1,493 (997)	2.9%	123	13	4.3%	81	587 (292)	39.3% (29.3%)	55
16年	1,694 (1,155)	3.3%	139	12	5.0%	75	544 (269)	32.1% (23.3%)	51
17年	1,976 (1,251)	3.8%	163	11	4.6%	69	691 (372)	35.0% (29.7%)	65
18年	1,860 (1,095)	3.7%	153	14	6.0%	88	741 (348)	39.8% (31.8%)	70
19年	1,427 (677)	3.1%	117	11	5.6%	69	697 (237)	48.8% (35.0%)	66
20年	1,479 (564)	3.3%	122	5	2.6%	31	756 (197)	51.1% (34.9%)	71
21年	1,267 (320)	2.9%	104	7	3.7%	44	595 (129)	47.0% (40.3%)	56
22年	1,151 (292)	2.6%	95	6	3.7%	38	589 (123)	51.2% (42.1%)	55
23年	1,153 (258)	2.7%	95	3	2.0%	19	548 (117)	47.5% (45.3%)	52
24年	1,068 (240)	2.5%	88	5	3.0%	31	489 (121)	45.8% (50.4%)	46
25年	1,067 (241)	2.4%	88	6	2.5%	38	538 (150)	50.4% (62.2%)	51
26年	982 (186)	2.4%	81	0	0.0%	0	492 (103)	50.1% (55.4%)	46
27年	913 (312)	2.3%	75	5	3.4%	31	494 (160)	54.1% (51.3%)	47
28年	890 (350)	2.4%	73	6	4.4%	38	490 (175)	55.1% (50.0%)	46
29年	880 (326)	2.5%	72	5	3.6%	31	546 (193)	62.0% (59.2%)	51
30年	716 (255)	2.3%	59	8	6.0%	50	469 (178)	65.5% (69.8%)	44
令和元年	625 (236)	2.3%	51	4	4.3%	25	421 (165)	67.4% (69.9%)	40
令和2年	578 (262)	2.7%	48	2	2.2%	13	393 (179)	68.0% (68.3%)	37
令和3年	560 (230)	2.8%	46	5	5.1%	31	378 (159)	67.5% (69.1%)	36

注1 表中の()内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

2 「指数」は、平成元年の各件数を100とする。

第18 交通事故事件捜査

(2) 過去5年のひき逃げ・不申告事件発生・検挙状況



区 分	平 成 28年	平 成 29年	平 成 30年	令和 元年	令 和 2年	令 和 3年
発生件数	890 (350)	880 (326)	716 (255)	625 (236)	578 (262)	560 (230)
	指数	100	99	80	70	65
	死亡ひき逃げ件数	6	5	8	4	2
対全事故比率	2.4%	2.5%	2.3%	2.3%	2.7%	2.8%
検挙件数	490 (175)	546 (193)	469 (178)	421 (165)	393 (179)	378 (159)
検挙率	55.1% (50.0%)	62.0% (59.2%)	65.5% (69.8%)	67.4% (69.9%)	68.0% (68.3%)	67.5% (69.1%)

注1 表中の()内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

2 「指数」は、平成28年の各件数を100とする。

第18 交通事故事件捜査

(3) 令和3年中のひき逃げ・不申告事件

ア ひき逃げ・不申告事件の発生・検挙状況

ひき逃げ・不申告事件の発生件数は560件で、前年に比べ18件(3.1%)減少した。
 検挙件数は378件で、検挙率は、67.5%と前年に比べ0.5ポイント減少した。

○ 令和3年中のひき逃げ・不申告事件の発生・検挙状況

区 分	発生件数	検挙件数	検挙率
死 亡 事 故	6 (5)	7 (6)	116.7% (120.0%)
重 傷 事 故	19 (13)	17 (12)	89.5% (92.3%)
軽 傷 事 故	535 (212)	354 (141)	66.2% (66.5%)
合 計	560 (230)	378 (159)	67.5% (69.1%)

注 表中の()内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

○ ひき逃げ・不申告事件の前年比

区 分		発 生			検 挙		
		令和3年	前年比	増減率	令和3年	検挙率	前年比 (ポイント)
ひき逃げ	死 亡	5	+3	+150.0%	6	120.0%	+70.0
	重 傷	13	-11	-45.8%	12	92.3%	+9.0
	軽 傷	212	-24	-10.2%	141	66.5%	-0.5
	計	230	-32	-12.2%	159	69.1%	+0.8
不申告	死 亡	1	+1	—	1	100.0%	+100.0
	重 傷	6	-1	-14.3%	5	83.3%	-45.3
	軽 傷	323	+14	+4.5%	213	65.9%	-0.4
	計	330	+14	+4.4%	219	66.4%	-1.3
合 計	死 亡	6	+4	+200.0%	7	116.7%	+66.7
	重 傷	19	-12	-38.7%	17	89.5%	+4.0
	軽 傷	535	-10	-1.8%	354	66.2%	-0.4
	計	560	-18	-3.1%	378	67.5%	-0.5

第18 交通事故事件捜査

イ 令和3年中のひき逃げ事件

注 構成率については四捨五入のため、各項目の合計は必ずしも100%とは限らない。

(ア) ひき逃げ事件の発生状況

○ 時間別発生状況

区 分		午 前						午 後						計
時 間 帯		00～ 02時	02～ 04時	04～ 06時	06～ 08時	08～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	
発生件数														
合 計		0	6	12	28	24	16	17	29	26	37	25	10	230
構 成 率		0.0%	2.6%	5.2%	12.2%	10.4%	7.0%	7.4%	12.6%	11.3%	16.1%	10.9%	4.3%	100.0%
内 訳	死 亡	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5
	重 傷	0	0	1	4	2	0	0	0	2	2	1	1	13
	軽 傷	0	5	9	24	22	16	17	29	24	35	24	7	212

(イ) ひき逃げ事件検挙の端緒等

ひき逃げ事件検挙の端緒は、「追跡・検問・職質」などの警察活動によるものが49件(30.8%)、「目撃者の通報」などの民間協力によるものが110件(69.2%)であった。

ひき逃げ事件の逃走動機は、「被害程度が大したことはないと思った」「ひき逃げの事実否認」「事故を起こしたことに半信半疑であった」の順であった。

○ 検挙の端緒別状況

端緒別 区分		警 察 活 動						民 間 協 力					合 計
		追跡・検問・職質	聞き込み	検 査	現場の遺留品等	そ の 他	小 計	目撃者の通報	目撃者等の追跡	被害者等の申告	そ の 他	小 計	
件 数		3	3	13	3	27	49	68	8	26	8	110	159
構 成 率		1.9%	1.9%	8.2%	1.9%	17.0%	30.8%	42.8%	5.0%	16.4%	5.0%	69.2%	100.0%

注 警察活動の「その他」とは、防犯カメラ映像解析など、民間協力の「その他」とは防犯カメラ映像の提供など。

○ ひき逃げ事件の逃走動機

・被害程度が大したことはないと思った	17.6%
・ひき逃げの事実否認	11.3%
・事故を起こしたことに半信半疑であった	10.7%
・被害者が大したことはないと言った	9.4%
・無免許運転中であった	8.8%
・事故を起こしたことが恐ろしくなった	7.6%
・その他	34.6%

注 「その他」とは、逃げてしまえば分らないと思った、無免許運転中であった、損害賠償を恐れたなど。

